

JAØYOK

CLUB NEWS

08-1-02
JARL新発田クラブ

2009 Feb.

2月定例ミーティング

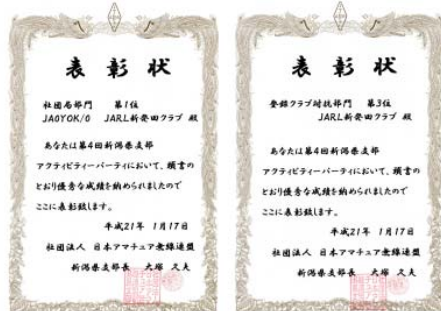
- ・クラブ代表者会報告
- ・その他

3月からミーティング会場は交流センターです。

↓ 1月17日クラブ代表者会 (寺泊)



新年会でアクティビティーパーティの表彰



社団局1位!!! 登録クラブ3位

1月定例ミーティング

- 参加者 1月10日新発田市中央公民館
- JAØBYV (佐藤) 、 JAØØIK (松井)
 JAØPTK (佐藤) 、 JHOEHG (椿)
 JGOSYA (渋谷) 、 JIØLPH (鍋谷)
 JJØKKK (松田) 計 7名

1月23日12:54 LIFT OFF

当日は週休でしたのでインターネットのJAXAウェブサイトのライブ中継でH-IIAロケット打上げの瞬間を見ることができました。12時54分、温室効果ガス観測技術衛星「いぶき(GOSAT)」のほかにペイロードとして「かがやき」「STARS」「KKS-1」「PRISM」「SOHLA」「SPRITE-SAT」と「SDS-1」計8衛星を積んだH-IIAロケット15号機が鹿児島県南種子町の種子島宇宙センターから打ち上げられました。今回打ち上げられた衛星の半分はアマチュア衛星でコマンド、ビーコン、テレメトリなどをアマチュアバンドを利用しています。やっぱり生中継を見てると興奮しちゃいますね

SORUNSAT-1「かがやき」はテレメトリ437.375MHzFSK(FM)AX.25(9600bps)、CWビーコン437.375MHz(テレメトリと切替)で衛星高度666Km、「かがやき」の開発・打ち上げ・および運用を機会として、子どもたちに宇宙をより身近に感じてもらおうプロジェクトで技術はソラン(株)、東海大学、(株)ウェルリサーチの技術者集団がサポートしています。衛星側の不調か故障? 管制局で毎パス必死のアクセスを行っているがいまだONならず。行方不明状態です。。

STARSプロジェクトの主目的はTSR(Tethered Space Robot:テザー宇宙ロボット)の技術実証実験です。STARSは親機、子機の2機から構成されて、親機は子機を射出し、子機は自身の姿勢制御を行います。TSRはテザー先端に取り付けられたロボットであり、張力の変化によるアーム動作によって姿勢を制御します。低コストである超小型衛星を利用することによって研究室レベルで軌道上での実証実験を繰り返し、テザーシステムの有用性を示すことが本プロジェクトのコンセプトです。衛星名「KUKAI」CWビーコン親437.305MHz子437.275MHz、JR5YBN、JR5YBO、高度666Km つづく ↗

▽つづき

KKS-1は一辺約15cmの立方体形状、約3kgの超小型衛星で世界最年少クラスの衛星開発で(15歳~22歳、専攻科生は21,22歳)宇宙を題材とした「ものづくり宇宙工学教育」の実践として、学生・教員の連携により衛星作りを行う。CWビーコン437.385MHz(コールサインはJQ1YY Y)、437.445MHzAX.25、愛称は『輝汐』(KISEKIと読みます) 高度666Km

PRISMは東京大学中須賀研究室が運用する衛星でアクティブな姿勢制御や大掛かりな軌道上展開機構、30m級の地上分解能の画像取得など高度な技術にチャレンジ、JQ1YZWダウンリンク437.425MHz(AFSK1200bps、GMSK9600bps)、CWビーコンは437.250MHzで受信したデータを東大ISSLへ報告すると受信証が発行されます。衛星名「ひとみ」高度619Km

SOHLAは「中小企業の技術力を結集して人工衛星を打ち上げよう」と、2002年12月に設立された 東大阪宇宙開発協同組合の衛星「まいど1号」で話題になりました。アマチュアバンドのCWビーコン受信、AX.25プロトコルのテレメトリ信号の受信を行います。Sバンド(周波数非公開)で運用、衛星のA1AつまりCWの許可がおりてなくて、免許までに約一ヶ月かかるらしくアマチュアバンドでの運用は2月中旬以降437.505MHz CW/FM JL3YUS 高度668Km

SPRITE-SATは東北大学大学院理学研究科と工学研究科が共同で開発、衛星の愛称を「雷神」(らいじん、RISING)と命名、落雷に伴う高層大気発光現象である「スプライト」を真上から撮影します。また、ガンマ線カウンタとVLFアンテナにより、地球の雷雲起源のガンマ線放射と落雷を同時観測します。これらはどちらも世界初の試み。衛星高度666Km

SDS-1は小型実証衛星1型 宇宙航空研究開発機構の若手職員が人工衛星の信頼性と技能の向上を目的に作った衛星。

人工衛星の名前については打ち上げ前は開発コードで呼び、軌道に投入されて衛星となつてから愛称等命名されるのが普通でしたが、今回は打ち上げ前から、おきて破りの衛星名での呼称が一部見られました。ん〜んん…あまりこだわることはないのか? でも、その所為とは言わないが、いまだに行方不明の衛星が一個あるのも事実。!? チョット残念。

今回の衛星を含め現在位置を追尾できるURLです。こんなに沢山飛んでます。。。 http://homepage2.nifty.com/m_kamada/javascript/satellite/index.htm



あまりはっきりとしない画像ですがLIVE画像から撮ったものです。大宇宙へ目を耳を向ければ地球上の争いももう少し減るのでは…

2月のロールコール

- 参加者 (2月7日20:00~ 432.68FM)
- JAØBJV (佐藤) 、 JAØBYV (佐藤)
 JAØCON (佐藤) 、 JAØPTK (佐藤)
 JHOEHG (椿) 、 JHOQKU (五十嵐)
 JFØDZZ (奈須野) 、 JGOSYA (渋谷)
 計8名(雷鳴轟く中でのOAMでした)

Turbo HAMLOG 2/9現在
 現在の Turbo HAMLOG/Win
 Version Ver.5.12d(2009.01.23)

EVENT&CONTEST

- 2/14 KCJ TOPBAND TEST
- 2/28 広島WAS TEST
- ◆3/7 20:00~ロールコール 432.68FM
- ◆3/14 定例ミーティング(交流センター)
- 3/14 ALL JAØ TEST (3.5)

編集後記

今月はロケット打上げLIVE中継を見て興奮してしまい、紙面のほとんどを使ってしまう。。。若い人たちに興味をもってもらい、科学技術を持ってゆく人が育ってくれるといいですね!

...de JAØBYV さとう